

沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

【現状】

新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（5月9日-5月15日）の新規陽性者数は14,976人（先々週11,182人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R) *1 は1.22 [最小値0.71-最大値1.67]、このうち那覇市は1.20 [0.88-1.57]でした。また、宮古は1.09 [0.70-1.69]、八重山は1.27 [0.91-1.82]でした（図1）。大型連休後も全県的に陽性者数の増加が続いています。

*1：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

年齢階級別推移

年齢階級別では、10代が2,759人（18%）と最多であり、10歳未満2,476人（17%）、30代2,331人（16%）と続きます。性差では、20歳未満で男性が多いのに対して、20歳以上では女性が多いことは変わりありません（図2）。

推移をみると、20代、30代のほか、高齢者では90代で急速に増加していましたが、各年代とも先週後半から増加速度が減弱しているようです（図3）。

保健所管区別

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部983

人（先々週369人）、中部5,369人（先々週3,871人）、那覇市2,987人（先々週2,302人）、南部4,389人（先々週3,688人）、宮古777人（先々週673人）、八重山416人（先々週251人）でした。全県的に感染が拡大していますが、とくに北部で急速に増加しています（図4）。

県外からの渡航者は54人（先々週49人）でした。渡航元は、東京都が最多で14人、大阪府6人、千葉県5人と続き、20都道府県にわたります。

入院患者数推移

先週の新規入院患者数は193人（先々週182人）と増加しています。このうち、70歳以上の高齢者が106人（55%）を占めています（図5）。

入院患者数も先週末時点で442人（5月8日時点317人）と増加が続いており、このうち酸素投与など中等症患者についても201人（5月8日時点160人）と増加しています。気管挿管など重症患者は6人となっています（5月8日時点6人）（図6）。

この他、社会福祉施設で療養されている陽性者が、先週末時点で48施設306人（5月8日時点176人）と急速に増加しています（図7）。

先週末時点における確保病床の病床占有率は、沖縄本島59.3%（310/523）、宮古地区60.6%（40/66）、八重山地区18.2%（8/44）となっています。

【今後の見通しと対策】

沖縄県では、大型連休をきっかけに感染が拡大しています。先週は1日あたり2千人を超える新規陽性者数が続き、30人前後の新規入院を認めていました。ただし、先週後半より感染拡大が減弱してきた可能性があり、今後、若者から高齢者へと二次感染の波が重なってこないか注視していく必要があります。

今後、さらに高齢者へと感染が拡大すると、来週には病床が不足しはじめる恐れがあります。その場合には、コロナ感染者に限らず必要な医療が提供できなくなります。いまは誰しものが感染しているかもしれないと考え、重症化リスクのある高齢者の家を訪問したり、一緒に食事をとったりするのを控えてください。

また、本島中南部の救急外来は混雑しており、一部では4時間を超える待ち時間となっています。基礎疾患のない50歳以下で軽症の方は、できるだけ市販薬を活用して自宅療養を続けていただければと思います。ただし、息苦しさがある、食事がとれない、歩けないなど、症状が進行している場合には、迷わず救急受診をしてください。

コロナ感染の有無を確認したい方は、無症状であれば市中の検査所などでPCR検査を受けてください。一方、症状を認めている方は、できるだけ薬局で販売している医療用抗原定性検査キットで判定していただければと思います。自己検査が陽性であったときは、県が設置する「抗原定性検査・陽性者登録センター」でオンラインにより届出できます。

医療用抗原検査キットを使用し陽性となった方へ
https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/vaccine/kensa/kougenn_touroku.html

新規陽性者数は12,000-18,000人となり、今週末までに入院患者数は480-570人に至り、うち重症患者数は8人前後と見込まれます(図8)。

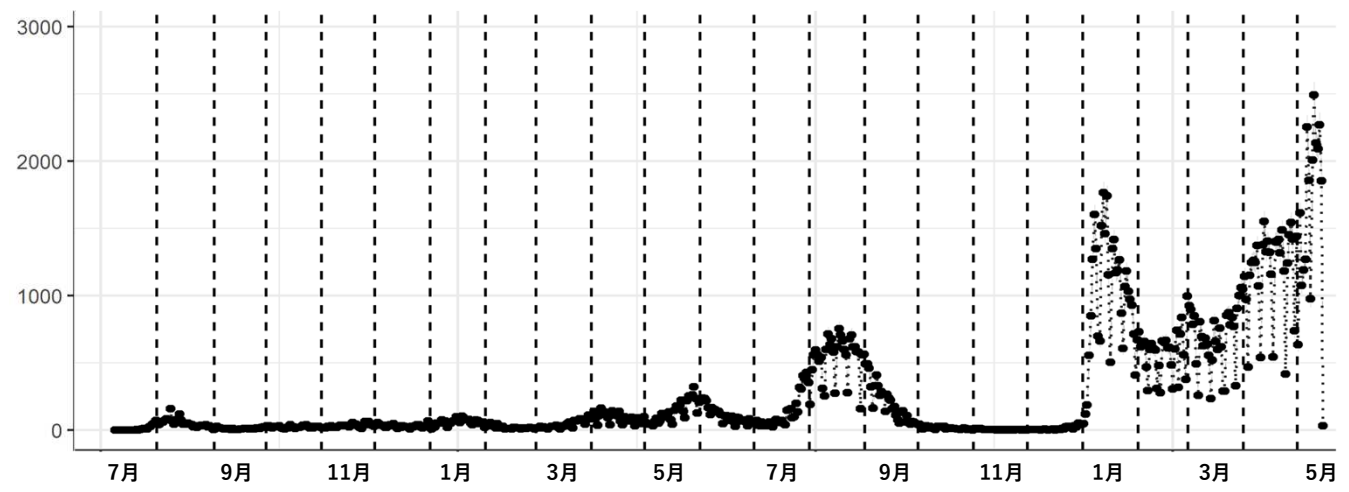
ワクチン接種を3回目まで追加することにより、入院と死亡のリスクを減らすことができます。とくに高齢者の方々は、今のうちに接種を済ませてください。2回接種では不十分です。皆さんを守るだけでなく、沖縄県の医療と福祉を守り、病気の子どもたちを含めて、多くの人を守ることに繋がります(図9)。

今年1月の第6波のような爆発的拡大は認めていませんが、感染は抑えられていません。今週の

図1 陽性者数の推移と実効再生産数 (北部、中部、南部)

陽性者数 (確定日)
日あたり観察値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)



実効再生産数
直近7日間平均値

北部、中部、南部医療圏
(宮古・八重山を除く)

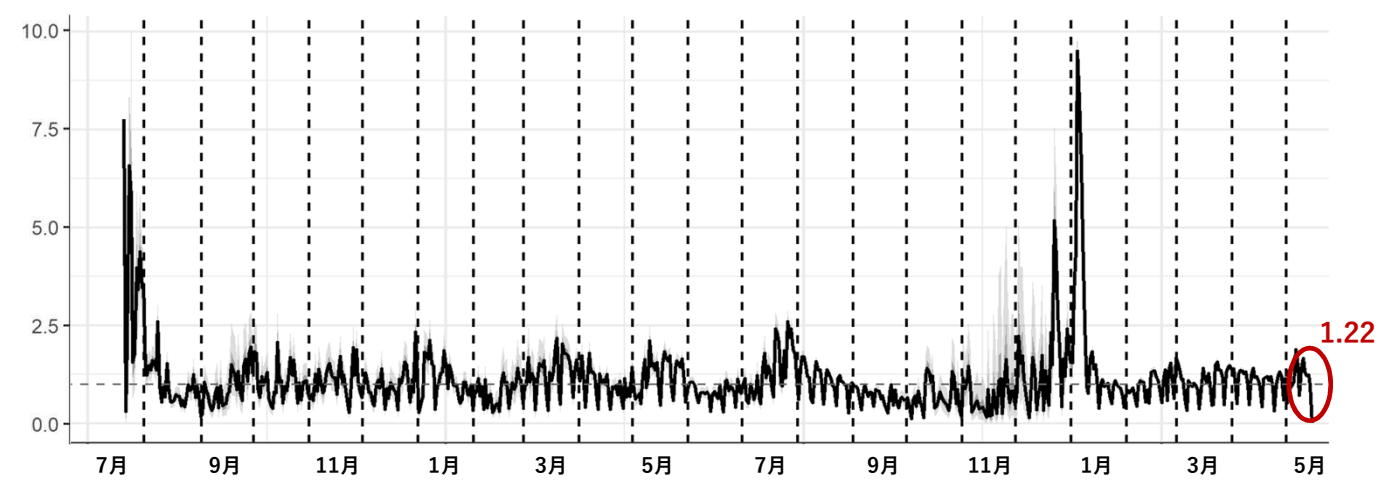


図2 性年齢階級別に見る陽性者数 (5月2日~8日)

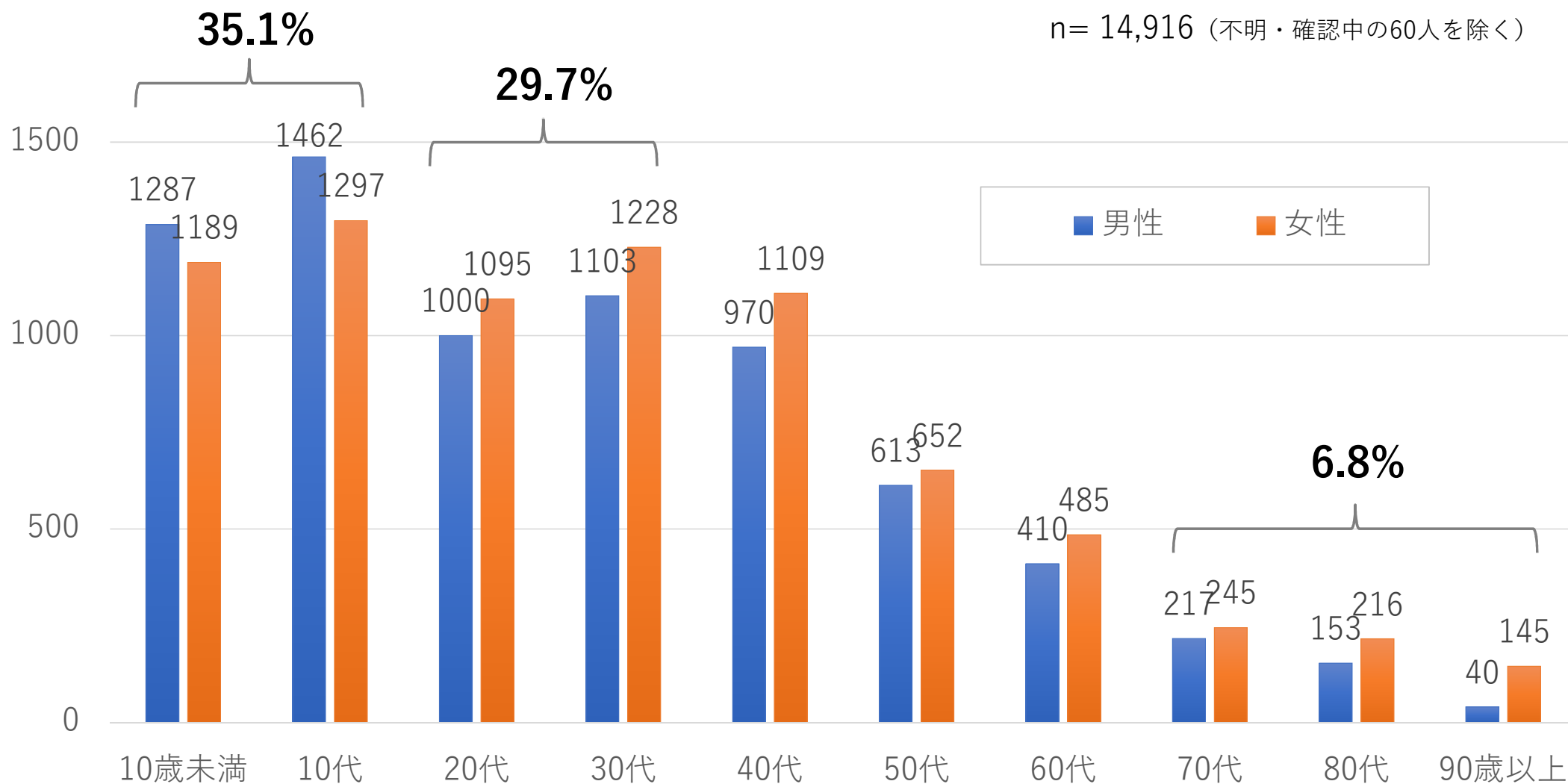


図3 年齢階級別に見る新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

まん延防止等重点措置

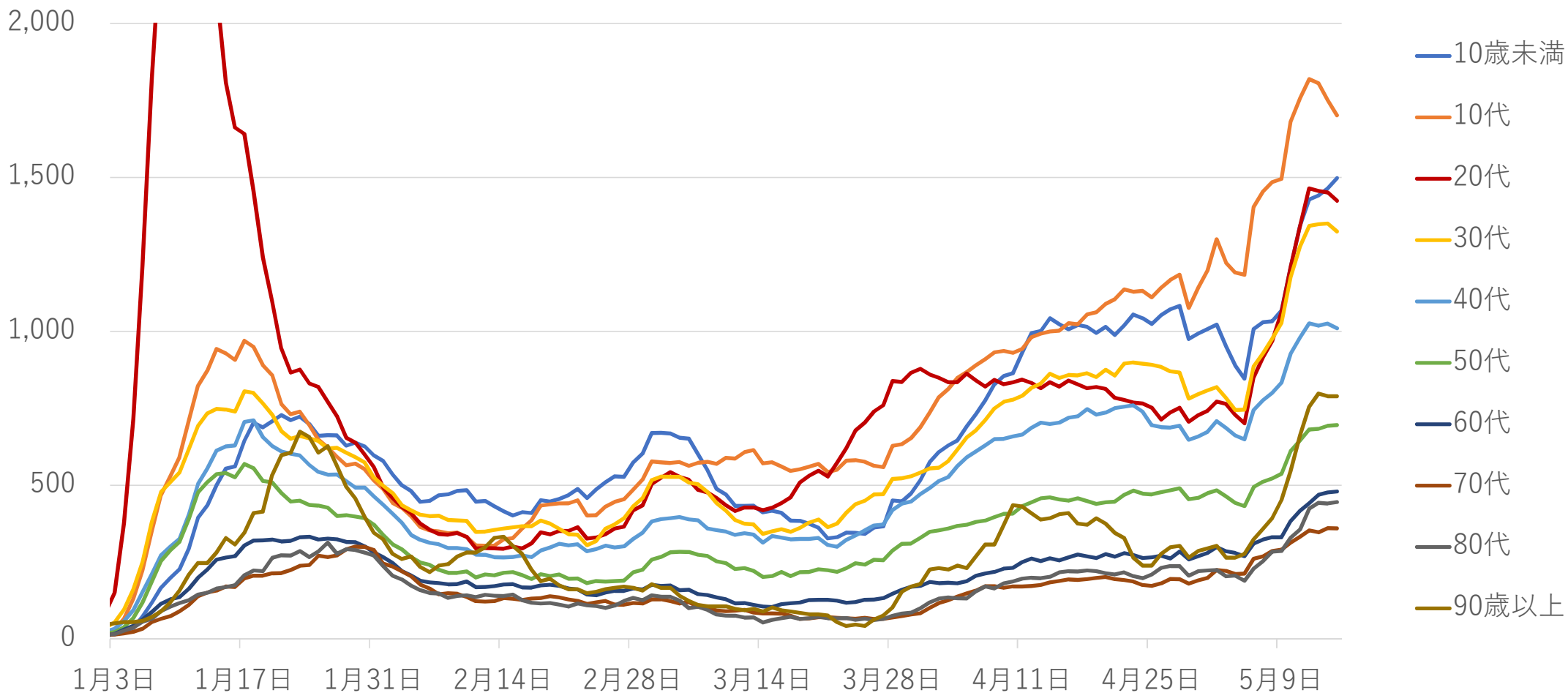


図4 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

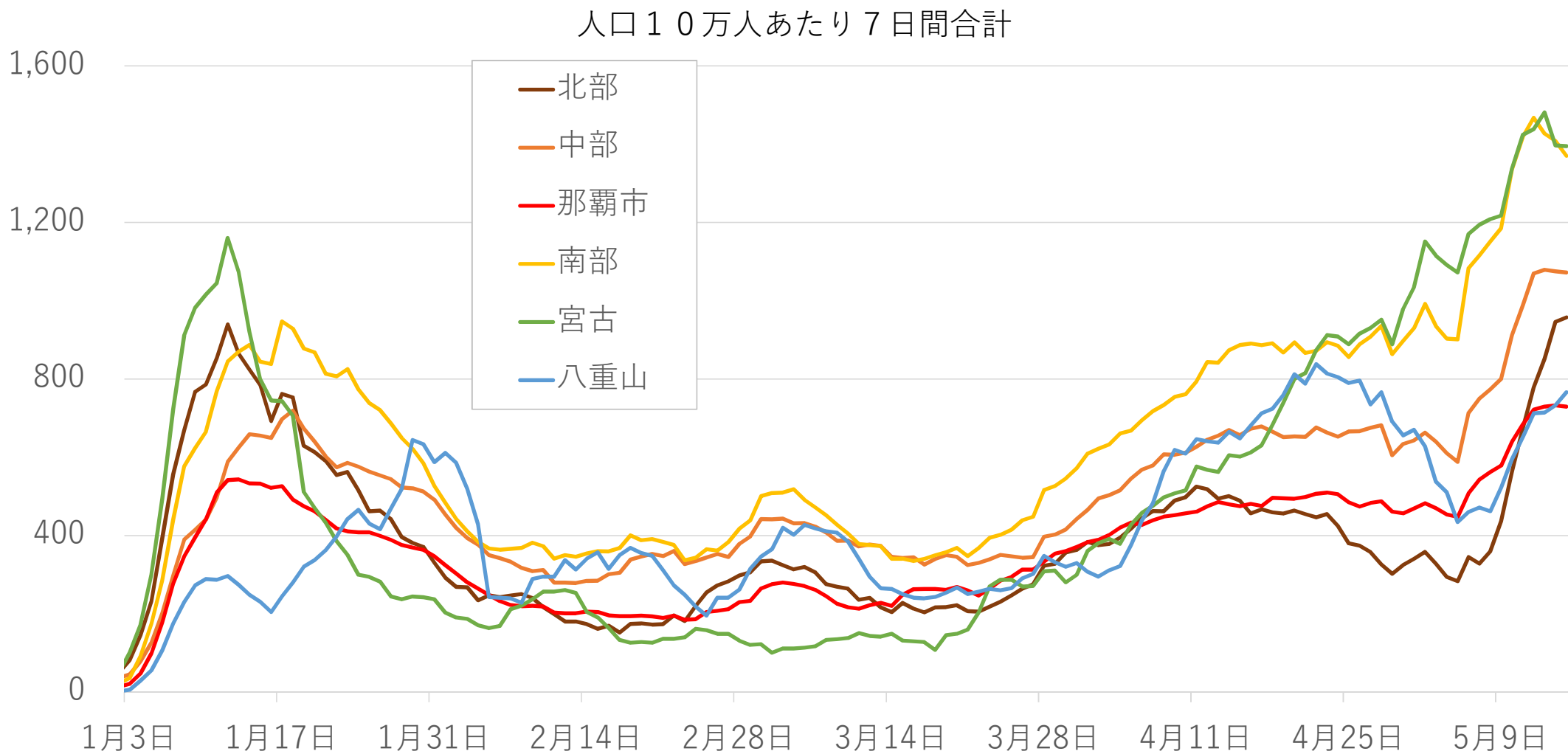


図5 新規入院患者の年齢分布 (5月9日~15日)

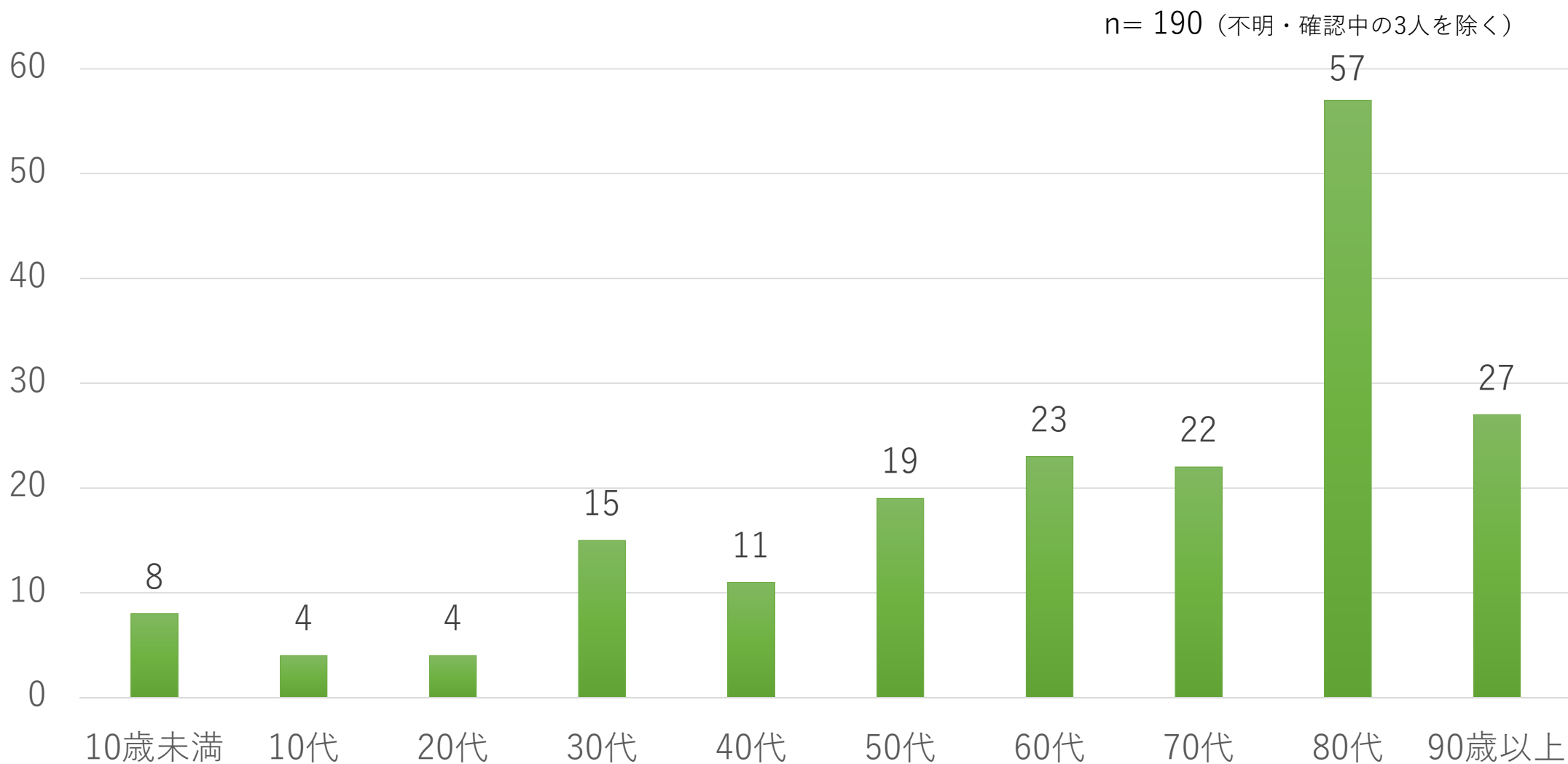


図6 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移

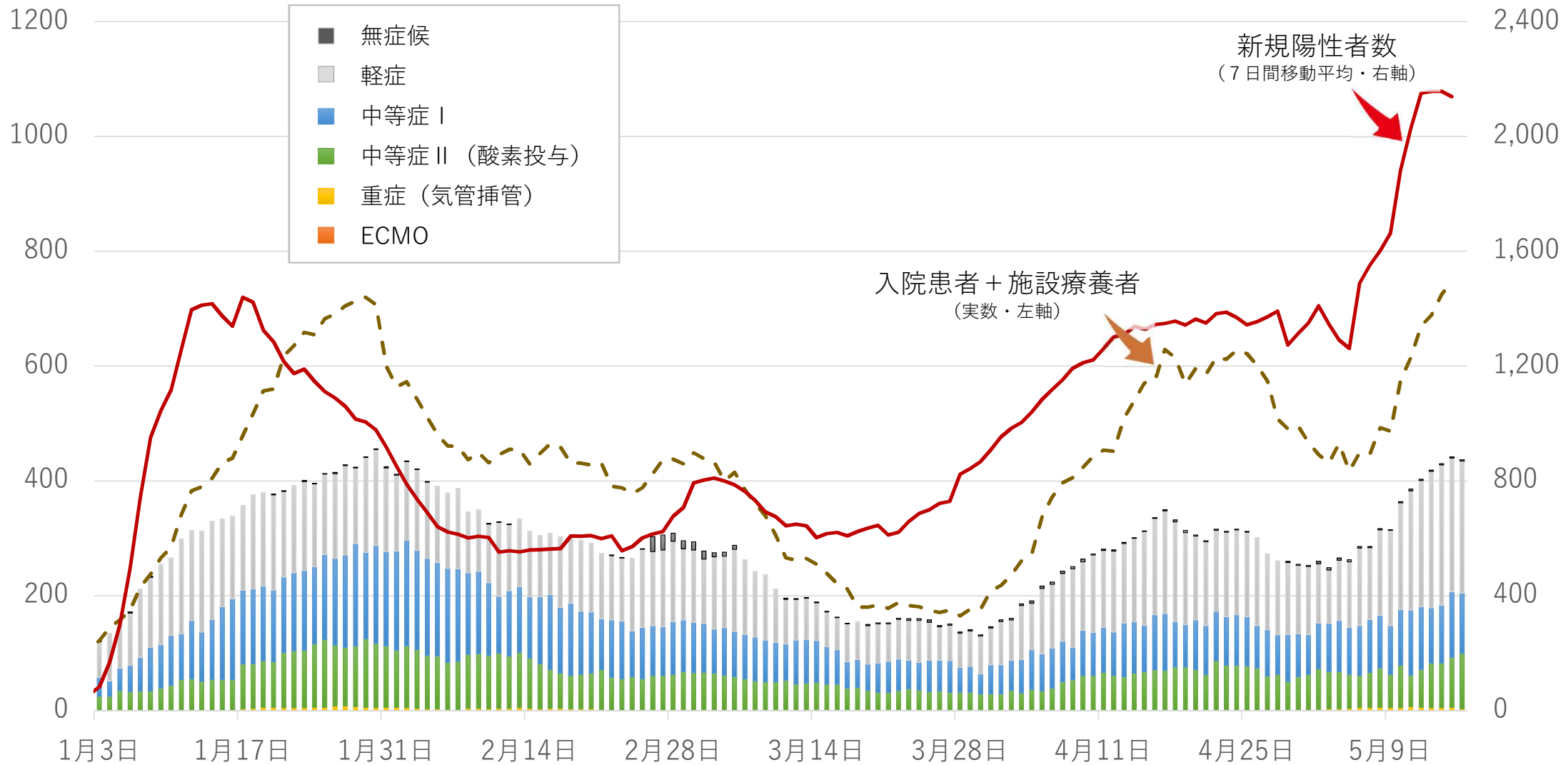


図7 社会福祉施設における施設内療養者数

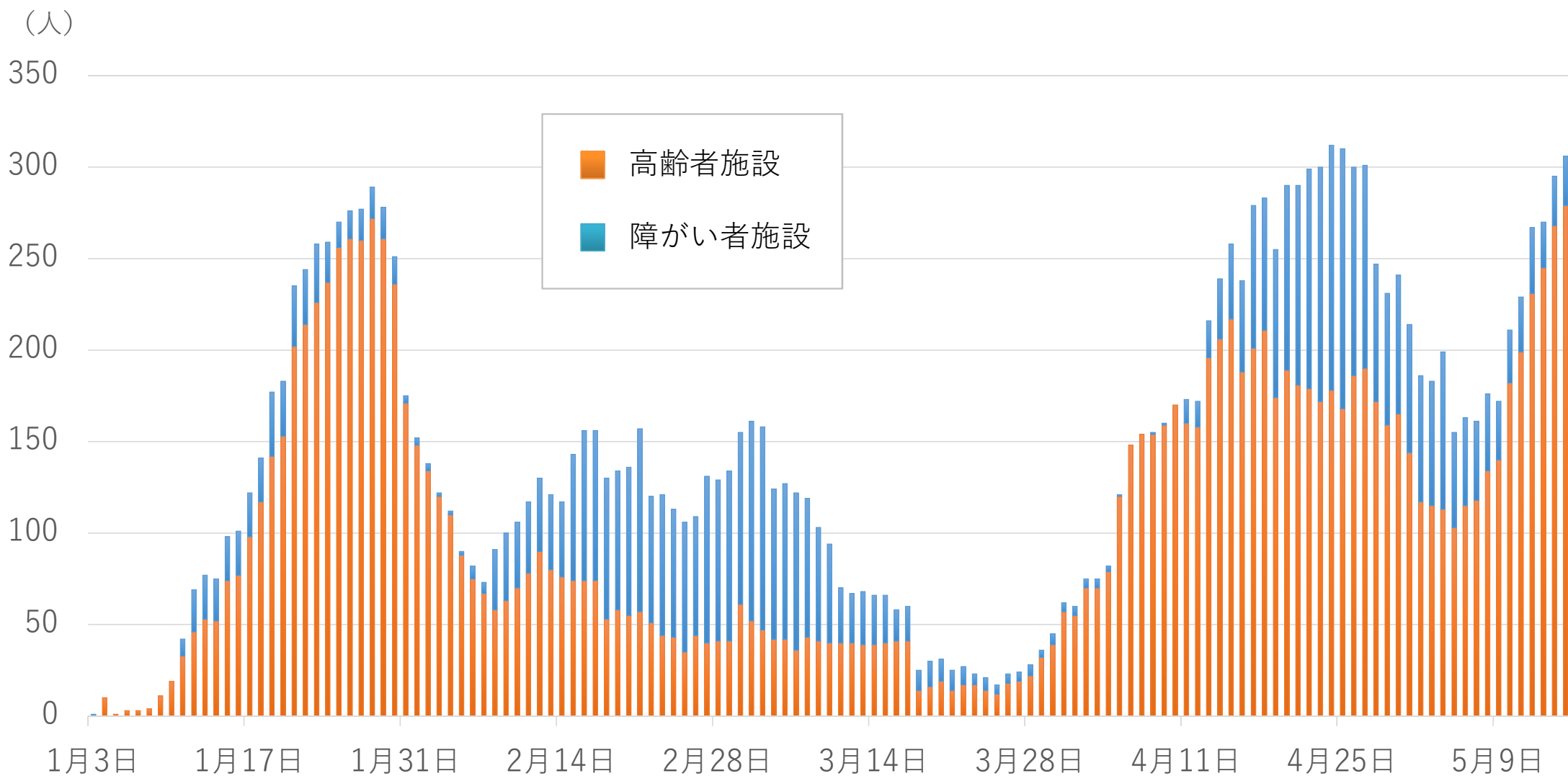


図8 今後1週間（5月16日-22日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県
 年齢群別重症化率； 厚生労働省
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

実効再生産数	新規陽性者数（確定日）			入院患者数※			重症患者数※		
	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
北部	478	962	1,937	49	62	82	0.4	0.6	0.8
中部	2,653	5,342	10,757	119	157	221	3.7	4.2	5.0
那覇市	1,481	2,982	6,005	97	123	167	1.4	1.8	2.3
南部	2,228	4,487	9,036	100	135	192	1.1	1.5	2.2
宮古	383	772	1,555	35	44	57	0.9	1.0	1.2
八重山	197	397	799	9	12	17	0.1	0.1	0.2
合計	7,420	14,942	30,089	409	533	736	7.5	9.1	11.7

※ 5月22日時点の見込み数

沖縄県疫学・統計解析委員会

図9 コロナと診断された人は、どれくらい重症化しますか？

沖縄県内において、2022年1月1日から4月30日までに診断確定した感染者 111,819人について集計した

診断



入院



重症化



死亡



20歳未満	140人に1人	2万人に1人	なし
20～49歳	120人に1人	6千人に1人	5万人に1人
50～69歳	23人に1人	1,400人に1人	3千人に1人
70歳以上	4人に1人	120人に1人	130人に1人

ワクチン未接種 43.3%
2回目接種完了 25.4%
3回目追加接種 16.8%

ワクチン未接種 2.1%
2回目接種完了 1.3%
3回目追加接種 0.1%